

学校用椅子座面の機能性評価

Functional evaluation of the chair's seat for school children

製品技術部 吉成 哲

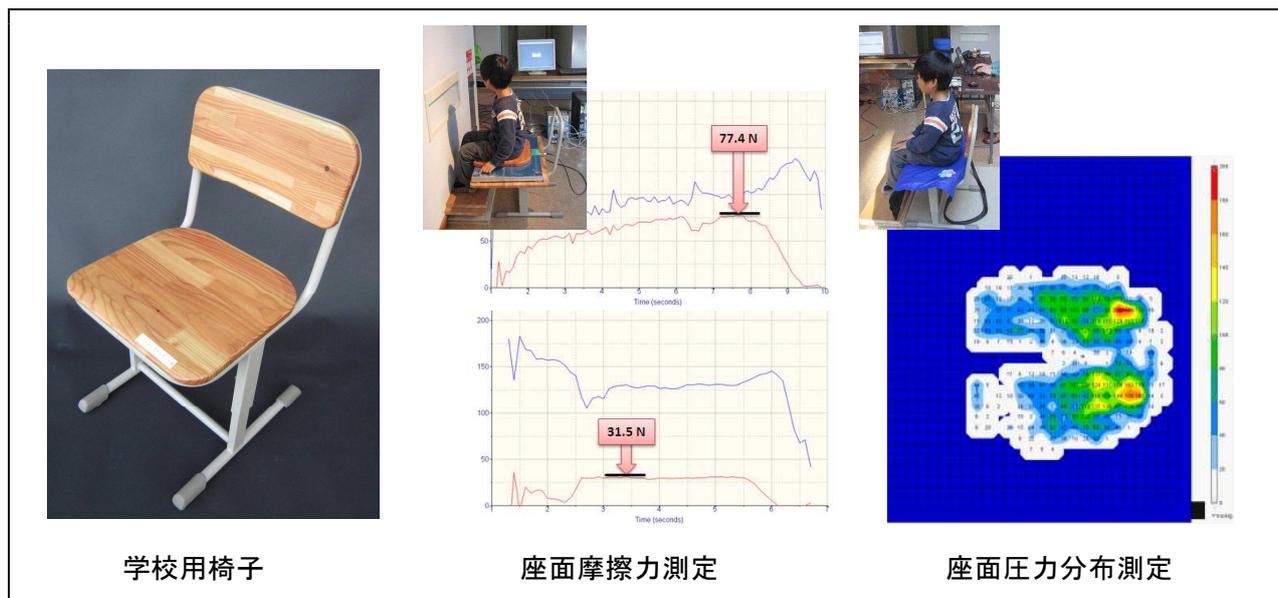
■ 支援の背景

釧路森林資源活用円卓会議のメンバーである釧路建具家具生産協同組合と釧路工業技術センターは、地場で育ったカラマツ材を使用した学校用机椅子を共同で開発しています。木製椅子の座面は硬く滑りやすいため、学習に適した姿勢を保持しにくいことが懸念されます。また「姿勢が悪い小学生が増えている」と教師を感じる小学校が7割以上にのぼっています。

そこで、座面にノンスリップ塗装と大きな曲率の掘り込み加工を施した椅子が試作されました。当時は、試作品の開発において人間工学的評価とモニター調査に関する技術支援を行いました。

■ 支援の要点

1. 座面摩擦力測定による滑りにくさの検証
2. 座面圧力分布測定による掘り込み加工の影響評価
3. モニター調査におけるアンケート結果の分析



■ 支援の成果

1. 座面へのノンスリップ塗装により、従来の2倍以上の摩擦力が得られました（10名の平均）。
2. 座面掘り込み加工により、一般的なフラット座面に座る場合と比較し、からだとの接触面積が増加することが分かりました。
3. モニター調査のアンケートにおいても、「椅子が滑りにくくて使いやすい」、「安定感がある」等の意見が寄せられ、地域の小学校に導入されています。

釧路建具家具生産協同組合 釧路郡釧路町桂1丁目2 Tel.0154-37-0252
 釧路工業技術センター 釧路市鳥取南7丁目2-23 Tel.0154-55-5121